

第87回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年7月20日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第87回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○末松副大臣

- ・本格的な夏に向け暑さ対策を強化する。避難所には扇風機を設置する。
- ・大規模避難所にはエアコンを設置したリフレッシュルームを設ける。
- ・これからも協力をよろしく願いたい。

○三浦災害対策副本部長

- ・今年は熱中症が去年の数倍になっているので、避難所の暑さ対策に配慮されたい。

○小野寺危機管理監

- ・暑さ対策については、先週、市町村に暑さ対策に関する文書を通知済みである。
- ・台風の動きに注意されたい。
- ・死者数は9, 219人, 行方不明者数は2, 565人, 避難者数は12, 140人, 避難所数は283施設である。

○伊藤震災復興・企画部長

- ・JR代替バスについて、松島から矢本に区間変更した。
- ・シーパル女川は、7月25日から再開する予定である。

○環境生活部

- ・放射能測定について、数値は落ち着いている。
- ・昨日、福島原子力発電所事故対策本部を設置した。

○岡部保健福祉部長

- ・市町村保健センターの被害額が増加した。子ども育英募金は申請件数が144件, 募金額は3億円超となった。
- ・第三回栄養調査を実施した。
- ・災害ボランティアは週末に3, 000人超であった。

- ・民間賃貸契約は20,257件であり、義援金は200億円弱である。

○千葉農林水産部長

- ・漁港のがれき処理はおおむね終了する予定であり、漁場については5分の2の作業が終了した。
- ・海底堆積物を調査中である。
- ・稲わらを県内全域で家畜に与えることの自粛、飼育牛の出荷の自粛要請を行った。

○橋本土木部長

- ・7月23日からアクセス鉄道の仙台～美田園駅間が再開する。
- ・7月25日から仙台空港国内定期便が再開する。
- ・仮設住宅について、第15次では2,722戸着工し、すべての用地を確保した。現在まで355団地19,794戸着工し、累計22,516戸である。すべて着工となる。

○自衛隊

- ・海上で遺体を1体収容した。
- ・給食支援は女川町のみ。入浴支援は残り11ヶ所である。
- ・今週から今月末まで実施しているハエの防除について、残りは10市町である。

○竹内警察本部長

- ・9,329体の遺体を収容した。遺族引渡は7,732体、市町村は1,577体引渡後の身元判明率は51.3%である。

○海上保安庁

- ・1週間で遺体を14体収容した。漂流船舶等の調査も継続している。

○小林教育長

- ・学校の避難所、仙台市、塩竈市で0になったため、残り56校となった。

○伊藤企業局長

- ・放射能セシウムは、下がってきている。

○末松副大臣

- ・民間借り上げが大幅に増えているとのことだが今後も増えるのか、それに伴い仮設住宅の建設に変更はないか。

○小野寺危機管理監

- ・増加したのは、福島県から避難された方の分である。津波被害者等の仮設住宅には影響はないものと思われる。

○三浦災害対策副本部長

- ・次回は7月27日10時00分に開催する。